

研究活動報告

『筑波大学先史学・考古学研究』第19号発刊

先史学実習（栃木県佐野市葛生・石灰焼成窯）三宅 裕，谷口陽子，花坂 哲，中尾麻由実，小野塚拓造，清家大樹（期間：11/10～11/15）

考古学実習（茨城県土浦市・坂田塚台古墳群第11号墳）常木 晃，小野塚拓造，清家大樹，川島尚宗，長谷川敦章（期間：12/8～12/14）

川西 宏幸 アコリス遺跡の発掘調査（エジプト）. *Preliminary Report AKORIS 2007*（共編著）. 『倭の比較考古学』.

常木 晃 シリア，テル・エル・ケルク遺跡の発掘調査（科学研究費）. 茨城県土浦市新治坂田塚台古墳群第11号墳の測量調査（考古学実習）. 6. A short history of Ganam al-Ali village, In Ohnuma, K. and al-Shbib, S. (eds.) *Archaeological survey in the Bishri region south of Raqqa – report of the first working season. Al-Rāfidān* 29. 「新石器時代の巨大集落—シリア，テル・エル・ケルク遺跡の2007年度調査—」『考古学が語る古代オリエント2007』. 「西アジア考古学この10年 特集に寄せて」『西アジア考古学』9. Tsunek, A. and Zeidi, M. (eds.) *Tang-e Bolaghi: The Iran-Japan Archaeological Project for the Sivand Dam Salvage Area. Al-Shark* 3, University of Tsukuba, Studies for West Asian Archaeology, Iranian Center for Archaeological Research and Department of Archaeology, University of Tsukuba（共著）. A newly discovered Neolithic cemetery at Tell el-Kerkh, northwest Syria, *Papers for 6th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*, Rome（口頭発表）. 「西アジアにおける墓地の成立」『日本西アジア考古学会第13回総会・大会要旨集』. 「総論：国家形成の考古学」『現代の考古学7 国家形成の考古学』（共編著）. 「ギョベックリ遺跡と部族社会」『Newsletter セム系部族社会の形成』13, 文部科学省科学研究費補助金特定領域研究.

三宅 裕 トルコ，サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡の発掘調査（科学研究費）. 2006 Yılı Diyarbakır İli, Salat Camii Yanı Kazısı. 29. *Kazı Sonuçları Toplantısı* 3. Cilt. Ankara. 「トルコ考古学この10年」『西アジア考古学』9. 「古代西アジアにおける銅冶金術の歴史」『Journal of MMIJ（資源・素材学会誌）』124. Excavations at Salat Camii Yanı: A Pottery Neolithic Site in the Tigris Valley. *6th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*, Rome（口頭発表）. Salat Camii Yanı Kazıları (Diyarbakır İli Bismil İlçesi) . 30. *Kazı, Arastırma ve Arkeometri Sempozyum*, Ankara.（口頭発表）.

谷口 陽子 新疆ウイグル自治区仏教石窟壁画群の技法調査（中国）. タジキスタン国立古物博物館所蔵ソグド壁画の技法・保存状態調査（タジキスタン），ローマ時代墳墓壁画群（コンスタンツァ）の技法・保存状態調査（ルーマニア）. 「バーミヤーン仏教壁画の材質分析(3)－ガスクロマトグラフィー／質量分析法を使用した有機物の分析：B(d)窟－」『保存科学』47（共著）. 「バーミヤーン仏教壁画の保存修復(3)－I窟およびN(a)窟における保存修復－」『保存科学』47（共著）. The painting techniques, materials and conservation of Bamiyan Buddhist mural paintings in Afghanistan, *ICOM-CC Triennial meeting Preprints (New Delhi 22-26 September 2008)*（共著）. 「バーミヤーン仏教壁画にみられる油彩技法について」『仏教芸術』298（共著）. 「アジアにおける彩色材料と技法の研究」『仏教芸術』298（共著）. Applications of synchrotron-based micro-imaging techniques to the chemical analysis of ancient paintings, *Journal of Analytical Atomic Spectrometry*, 23（共著）. Progress of the conservation work of mural paintings and the 2008 training workplan for the Afghan officials, *Expert Coordination Meeting for the Preservation of the Bamiyan Site, Munich, ICOMOS and UNESCO*（口頭発表）. The painting techniques, materials and conservation of Bamiyan Buddhist mural paintings in Afghanistan, *ICOM-CC Triennial meeting, New Delhi*（口頭発表）. 「シルクロード沿線地域における石窟壁画の技術」『歴史人類学会第29回大会』（口頭発表）. 「世界遺産を探る—アジア編—：アフガニスタン・バーミヤーンの世界遺産」『平成20年度茨城県弘道館アカデミー県民大学講座』. 「バーミヤーン仏教壁画に見られる油彩技法に関する分析」『第30回文化財保存修復学会』（ポスター発表）. 「アフガニスタン流出仏教壁画片の調査と修復」『第30回文化財保存修復学会』（ポスター発表）.

小野寿美子 研究課題：古墳時代社会の解体過程について、パブリック・アーケオロジー。

川島 尚宗 「霞ヶ浦周辺地域の縄文時代後・晩期遺跡と「環状盛土遺構」」『物質文化』85. Feasting and inter-village networks, *Documenta Praehistorica*, 35. Salt production and social complexity in the Jomon Period, *Living with Diversity*. 「複雑化狩猟採集民社会の経済的基盤」, 「茨城県かすみがうら市平三坊貝塚発掘調査報告」『筑波大学先史学・考古学研究』19 (共著). Possible *steatopygia* in prehistoric central Japan: evidence from clay figurines, *Anthropological Science*, 116 (1) (共著). Food consumption in the Jomon : An assessment of the social complexity of hunter-gatherers, *15th Neolithic Seminar* (口頭発表). Images of culture and tradition in the past, *1st Slovenia Japan University Cooperation Network Graduate Student Forum* (口頭発表).

バルディス・ミラグロス 研究課題：縄文時代物質文化の基礎的研究

池田 和美 「ガラスのはじまり」『ガラスのシルクロード・シンポジウム』(口頭発表).

種石 悠 「民俗誌を用いた内水面漁撈モデルー漁撈関連考古資料解釈のためにー」『動物考古学』25. 「筑波大学所蔵の台湾台北市円山貝塚採集磨製石斧類について」『筑波大学先史学・考古学研究』19. 「蝦夷の釣漁と海人論」『宮城考古学』10. 「宮古島長墓遺跡における人類学・考古学的調査の概報」『第62回日本人類学会大会』(共同発表).

中尾麻由実 「常陸の装飾古墳研究における船玉古墳の重要性について」船玉古墳を再発見 (口頭発表).

長谷川敦章 「ミネト・エル・ベイダ出土新資料の考古学的検討ー埋葬遺構の年代考察を中心にー」『オリエン』50-2. 「テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の測量調査」『Newsletter セム系部族社会の形成』10. 「農耕と牧畜のはざまに ユーフラテス河中流域の青銅器時代拠点集落ーシリア, ビシュリ山系, テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の2007年度発掘調査ー」『平成19年度考古学が語る古代オリエン』第15回西アジア発掘調査報告会報告集』(共著). 「北レヴァントの青銅器・鉄器時代都市ーシリア, テル・エル・ケルク1号丘遺跡第1次(2007)発掘調査ー」『平成19年度考古学が語る古代オリエン』第15回西アジア発掘調査報告会報告集』(共著). Archaeological research in the Bishri region-report of the Fourth working season-, *Al-Rāfidān* 29(分担執筆). 「部族社会を遡る：西アジア社会の起源を探る」発表「テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の発掘調査ー遺跡内における微地形と遺構の関係を中心にー」『特定領域研究「セム系部族社会の形成：ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究」公開講演会』(口頭発表). 「小型板状銅製品に関する一考察ーミネト・エル・ベイダ出土資料の検討を中心にー」『第13回日本西アジア考古学会』(口頭発表). 「北レヴァントにおけるミケーネ土器ーテル・エル・ケルク1号丘出土資料を中心にー」『第50回日本オリエン学会』(口頭発表). 「農耕と牧畜のはざまに ユーフラテス河中流域の青銅器時代拠点集落ーシリア, ビシュリ山系, テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の2007年度発掘調査ー」『第15回西アジア発掘調査報告会』(共同発表). 「北レヴァントの青銅器・鉄器時代都市ーシリア, テル・エル・ケルク1号丘遺跡第1次(2007)発掘調査ー」『第15回西アジア発掘調査報告会』(共同発表). 「北西シリア, テル・エル・ケルク1号丘の発掘調査」『第50回日本オリエン学会』(共同ポスター発表). 「シリア・ビシュリ山系, テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の発掘調査」『第50回日本オリエン学会』(共同ポスター発表).

小野塚拓造 「テル・レヘシュ出土のいわゆる「献酒台(libation table)」について」『第50回日本オリエン学会』(口頭発表).

清家 大樹 研究課題：先スペイン期アンデス社会における動物利用。

鈴間 智子 「茨城県かすみがうら市平三坊貝塚発掘調査報告」『筑波大学先史学・考古学研究』19 (共著).

村上 尚子 「テル・アイン・エル・ケルクの新石器時代の墓地の位置づけ」『史境』56. 「茨城県かすみがうら市平三坊貝塚発掘調査報告」『筑波大学先史学・考古学研究』19 (共著).

花坂 哲 *Preliminary Report AKORIS 2007* (共編著). 「アコリス遺跡南地区工房域の調査」『前一千紀のエジプト在地社会と文化変容 研究会』(口頭発表). 「アコリス遺跡にみられる民間信仰ー古代から現代までー」『第26回古代エジプト研究会』(口頭発表). 「前1千年紀古代エジプトの民間信仰ーアコリス遺跡出土のヒトガタ土製品を題材にー」『第42回日本文化人類学会』(口頭発表). 「古代エジプトの護符の世界ー護符からみる民衆の願いー」『第33回中近東文化センター附属三笠宮記念図書館 語る会』(口頭発表). 「古代エジプトの民間信仰ーアコリス遺跡出土の土製品からー」『第50回日本オリエン学会』(口頭発表). 「アコリス遺跡工房域発掘調査」『第50回日本オリエン学会』(ポスター発表).

平成 20 年度卒業論文・修士論文一覧

卒業論文（先史学・考古学コース）

- 赤羽根慎哉 古環境復原の手段としての自然科学分析に関する検討
ープラント・オパール分析を例としてー
- 上之真太郎 日本中世庭園の考古学的研究
- 中村真衣子 イラン、マルヴダシュト平原における新石器文化の諸相
ータル・イ・ジャリ A 遺跡石器群の分析を中心にー
- 服部 敦史 旧日本陸軍師団司令部建物の“再利用”に関する文化遺産論的考察
- 小林 篤史 個人によって構築される社会格差 ーアイヌ社会とイロコイ社会の比較よりー
- 本田百合子 古代から中世にかけてのみちの変遷と社会の変化 ー桜川流域を中心にー
- 御澤真一郎 南西イラン土器新石器時代における彩文土器文様変遷再考
- 水之浦和泉 墓制から見る古墳時代の南九州

修士論文（人文社会科学研究科）

- 鈴間 智子 五輪塔の形態変遷とその歴史的意義 ー筑波山麓を中心としてー
- 村上 尚子 西アジア新石器時代の葬送の変遷

修士論文（地域研究研究科）

- 猪野沙弥香 ミイラポートレートと死者